

# 福崎町文化財だより

82

福崎町教育委員会  
柳田國男・松岡家記念館  
神崎郡歴史民俗資料館

三木家との交流からみえる柳田國男・松岡家の故郷への思い

特別展示

## 松岡五兄弟

## からの手紙

代々学問的交流があった三木家と松岡家の明治以降のかかわりについて、新たに寄贈された書簡類を調査することで松岡家の兄弟それぞれが三木家と交流を持っていたことがわかってきました。

本展では、松岡家の人びとから三木家に宛てられた葉書や手紙を紹介するとともに、両家の交流や松岡五兄弟の故郷への思いなどを探ります。

入館料無料  
11月30日(水)まで開催!

- 会場 三木家住宅主屋
- 開館時間 9時～16時30分(入館は16時まで)
- 休館日 月曜日、祝日の翌日



松岡五兄弟大正10年(個人蔵)  
右から通泰、鼎、國男、静雄、映丘。

### 故郷を離れた五兄弟

三木家と同じ辻川で生まれ育った松岡五兄弟は、それぞれの道で才能を開花させ活躍しました。長男の鼎は医者・政治家、三男の井上通泰は医者・歌人、六男の柳田國男は官僚・民俗学者、七男の静雄は軍人・言語学者、八男の輝夫(映丘)は日本画家です。

故郷を離れ、当時の人びとが思い描く立身出世を遂げた5人は、まず明治13年(一八八〇)、通泰が15歳で上京します。次いで鼎が明治15年に医者を目指し24歳で東京大学医学部別課に入学しました。

そして明治17年、松岡家は辻川の家を売って一家で北条町(現加西市北条)へ移ります。

國男10歳、静雄7歳、輝夫4歳のときのことでした。明治20年には鼎が茨城県布川町(現利根町布川)で診療所を開業

し、松岡家は生活を関東に移しました。しかし、たびたび帰省をしたり、手紙や贈り物のやり取りをしたり、五兄弟それぞれが故郷とのつながりを生涯持ち続けていたことが、三木家に残された葉書や手紙からうかがえます。



三木承太郎(通濟)宛松岡鼎葉書 明治15年12月18日

辻川を離れてすぐ、大学で勉学に励んでいる鼎から送られた8代通濟宛ての葉書。細かい文字で近況を報告しています。

## 拙二からの贈り物

9代拙二は五兄弟の中では國男と一番年が近く、2歳年上の「竹馬の友」でした。五兄弟から拙二に宛てた手紙には、贈り物に対する礼状が多くあります。拙二は故郷の旬の食べ物や名物を送ることが多かったようです。



三木拙二宛松岡映丘葉書 5月1日

拙二から鯛を送られたことに対する映丘からの礼状。第7回振興大和絵会出品作品「二日物語」の絵葉書で送られています。播州名物に「浜蒸し鯛」と呼ばれる料理があり、鯛の旬の時期に五兄弟によく送っていたようです。

## 三木家と松岡家の交流

文化の担い手として地域の中心的役割を果たした三木家は、医者・儒学者を輩出していた松岡家と代々学問的交流がありました。5代通庸と松岡義輔（國男の曾祖父）は漢詩を楽しむ仲間であり、松岡小鶴（國男の祖母）は7代通深に詩作の相談をするなど親しく交わりました。その後も両家の交流は継続し、五兄弟に引き継がれていくこととなります。

展示では、今回が初公開となる松岡五兄弟から三木家に送られた手紙も紹介しています。また、三木家と松岡家の交流については、記念館で開催中の企画展もあわせて、ぜひご覧ください。

記念館では、秋季企画展「柳田國男の先祖、の話」を開催中です。三木家から発見された新出資料も交えて、松岡家の「ご先祖様」についてご紹介いたします。

会場 柳田國男・松岡家記念館  
2階展示室

### 令和4年度秋季企画展 「柳田國男の先祖、の話」



会期  
12月4日まで

### 令和4年度特別展

## 神崎タイムスにみる福崎 —うつりかわる暮らし—

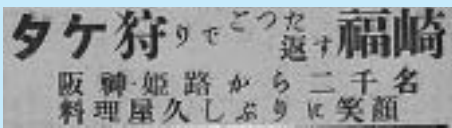
「神崎タイムス」は、昭和24年～昭和43年にかけて発行された神崎郡唯一の郷土新聞です。

12月4日まで開催中

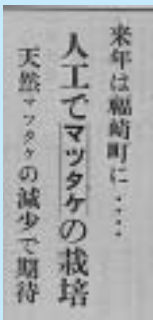
本展では、町村合併や交通、特産、暮らしの電化など様々なテーマからうつりかわる暮らしに焦点をあて、当時の福崎の様子について紹介しています。

今回は展示の中から、当時の特産品「松茸」について紹介します。

## 歴史民俗資料館だより



昭和32年10月15日発行  
貸切バス10台、タクシー約30台、汽車等でかけつけた客は2,000名にのぼったそうです。



昭和39年10月15日発行  
人工栽培の実験が高橋の山で行われました。

古来より神崎郡は松茸の産地として知られていました。特に播但鉄道の利便性から、福崎は松茸狩り客が多かったとされています。

記事では戦前に引き続き、松茸でにぎわう福崎の様子が報じられています。

一方で、松茸の不作を伝える記事もみられます。昭和39年になると松茸の人工栽培の実験に関する記事もあり、不作に悩む様子をうかがうことができます。

「神崎タイムス」は、この頃が福崎の松茸生産の過渡期であったことを伝えてくれます。

# 松岡五兄弟

松岡 鼎

第69話



松岡五兄弟の長兄・鼎は、他の兄弟たちよりも多くの時間を播磨で過ごしました。

二十三歳のときに上京し、七十五歳で亡くなるまで、人生の大半を関東で暮らした鼎ですが、故郷播磨のことはいつも気にかけていたようです。しかし、何かと多忙だったようで、帰郷したのは、記録に残っている限りでは、大正9年（一九二〇）と、同12年の2回だけでした。

大正12年の帰省の際、鼎が三木拙二に宛てた1月9日付の手紙が残っています。

内容ですが、まず、墓参りのために帰国した際に、もてなしてもらったことへのお礼がしたためられています。他の兄弟たちと同じように、このときも拙二は、鼎を手厚く

福崎の身近にある歴史を掘り起こそう

## 松岡家と三木家の関係⑤

### ―松岡鼎の帰郷―

国立民族学博物館共同利用型科学分析室プロジェクト研究員 井上 舞

もてなしたのでしよう。

そして、出発後鳥羽港に1泊し、伊勢神宮に参宮し、1月6日午前11時に帰宅したと書かれています。また、すぐにお礼を申し上げなければいけないのに、煩わしい用事がたくさんあって、お礼が遅れたと謝っています。

ところで、このときは弟の通泰も一緒に帰郷しており、1月6日付の通泰の礼状が残っています。

こちらは一部が破れているため、全文を知ることができません。それでも、（おそらく拙二が）姫路まで見送ってくれたこと、鼎とは大阪で別行動をとったらしいこと、しかしふたりとも6日の朝にそれぞれ帰宅したことなどが読み取れます。

ちなみに『柳田國男全集』別巻1の年譜によれば、このとき鼎と通泰は、辻川だけでなく、祖父真継陶庵の墓がある生野の本行寺も訪れ、住職と話をしたとあります。



三木家宛松岡鼎書簡



三木拙二宛井上通泰書簡

ふたりは年も近く、両親が亡くなったときにはすでに働いていたこともあり、互いに協力しながら下の3人の弟たち（國男・静雄・輝夫）の成長を支えました。そんなふたりの道中には、どんな会話があったのでしょうか。

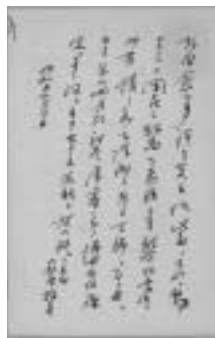
最後に紹介するのは、昭和5年（一九三〇）2月14日付の葉書です。冒頭では、「国産の珍品」を送ってもらったことへのお礼を述べています。そして、自分が古希（70歳）を迎えるので、4月頃に「社参展墓」（氏神である鈴の森神社に参詣し、また先祖の墓に詣ること）のため帰国の予定である、とあります。

鼎は医院を営む一方で、地方行政にも力を尽くし、昭和2年から1期2年間だけ布佐町長を務めました。また、この葉書を出した直後の3月に、郡医師会と学校衛生会長も退職しています。古希を目前に、これまで請け負ってきたさまざまな職も辞して、ゆっくりと故郷への旅を楽しむつもりだったのかもしれない。しかし、このときの帰省については、残念ながら記録が残っておらず、実現したかどうか

はわかっていません。柳田國男は「おさな名を人と呼ぶるふるさととは昔にかへるこちこそすれ」という歌を詠んでいます。「一生播州のアクセントと国訛りの抜けなかつた」鼎もまた、帰郷して拙二や辻川の人たちと話をする中で、手紙のやりとりとは異なる、「昔にかへるこち」を感じていたかもしれません。



松岡家墓所（悟真院）



三木拙二宛松岡鼎葉書

# 第10回子どもふるさと展

開催中!!

福崎町では、町内の小・中学生を対象に、地域の歴史や文化を調査研究した作品を募集し、優れた作品には「柳田國男ふるさと賞」を贈り表彰しています。

本展では、第10回柳田國男ふるさと賞での優秀作品を展示します。福崎町内の小・中学生の力作をぜひご覧ください。

★柳田國男・松岡家記念館2階会議室

11月5日(土)～30日(水)まで

★図書館メディアルーム

12月3日(土)～25日(日)まで

問い合わせ 柳田國男・松岡家記念館

(☎22・1000)

今年も記念館と図書館で二期開催するよ



内容は一緒だよ。見やすい方へ見に来てね

## 講演会のご案内

秋季企画展「柳田國男の先祖、の話」の開催を記念し、本年度も当館顧問の石井正己先生にご講演をいただきます。ぜひ、ご参加ください。

日時 11月19日(土) 13:30～

講師 石井正己

(東京学芸大学教授、柳田國男・松岡家記念館顧問)

場所 神崎郡歴史民俗資料館 2階

日本民俗学会研究奨励賞につきまして令和4年度の日本民俗学会研究奨励賞(福崎町賞)は、受賞該当者がなかったため、授賞式の参加はありませんでした。

## 岩田健三郎さんの版画教室

今年も岩田健三郎さんによる版画教室を開催します。版画で手作りの年賀状を作ってみませんか。

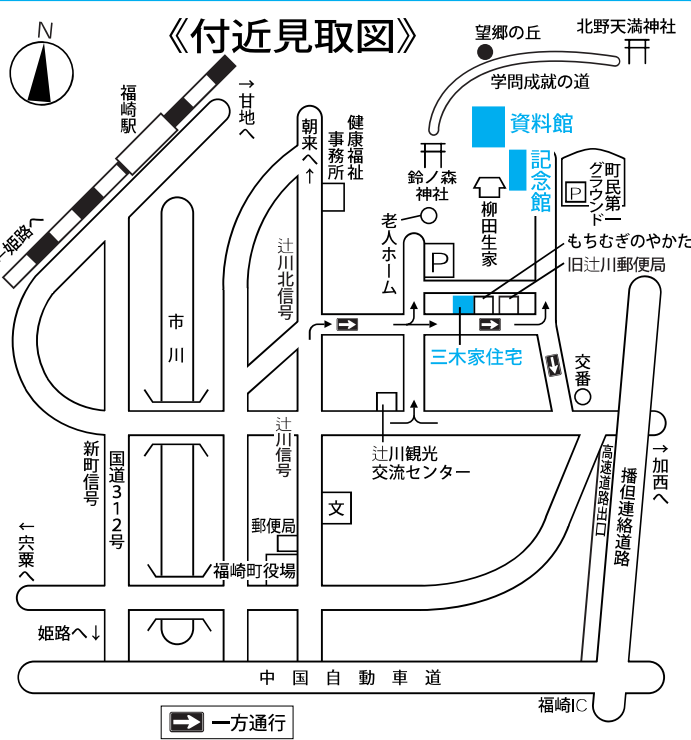
日程 12月4日(日)  
時間 13:30～  
場所 歴史民俗資料館2階  
材料費 100円  
持ち物 筆記用具、彫刻刀  
定員 20名  
問い合わせ 柳田國男・松岡家記念館 (☎22-1000)

## 11月は文化財保護強調月間です

文化財は、地域の歴史を伝えてくれる大切なものです。かけがえのない郷土の歴史遺産を、これからも長く未来へ守り伝えていきましょう。



町指定文化財(記念物) クロガネモチ(余田)



## 柳田國男・松岡家記念館 歴史民俗資料館 利用案内

開館時間

午前9時～午後4時30分

休館日

月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土・日曜の場合は開館)、12月28日～1月4日

入館料 無料

交通 JR播但線で福崎駅下車、タクシー約10分。車は播但連絡道路・中国自動車道で

福崎ICから約5分、または国道312号線を利用。

福崎町文化財だより(☎22-1000)

福崎町文化財だより(☎22-1000)発行 令和4年11月4日

●福崎町教育委員会

福崎町南田原316の1

☎0790②05660

●柳田國男・松岡家記念館

●神崎郡歴史民俗資料館

福崎町西田原108の12

☎0790②10000

(記念館)

☎0790②5699 (歴史)



11月は

ねんきん月間です

ホームページ [https://www.nenkin.go.jp/n\\_net/](https://www.nenkin.go.jp/n_net/)

この機会に、年金加入状況を確認しましょう。公的年金制度の加入履歴や、将来受け取れる年金の見込額を知るには、「ねんきんネット」をご利用ください。

ねんきんネット

検索



## 産前産後期間の国民年金保険料が免除されます **国民年金**

国民年金に加入している人が出産したとき、役場の窓口で申請すると、産前産後期間の年金保険料が免除されます。

この手続きで免除された保険料は、全額納付したときと同じ扱いになります。また、他の免除申請が承認されている場合、産前産後の免除に変更することができます。既に納付済みの場合は、全額返金されます。

対象者 国民年金第1号被保険者（20歳から60歳までの自営業者とその家族、学生、無職の人）

※会社員・公務員など厚生年金加入中の人や、その配偶者の免除手続きについては、勤め先にご相談ください。

免除される期間 出産予定日または出産日が属する月の前月から4か月間（双子以上の場合は3か月前から6か月間）

※妊娠85日以上の出産に限る。（死産・流産・早産を含む。）

申請できる期間 出産前：出産予定日の6か月前から

出産後：いつでも（平成31年2月1日以降の出産に限る）

申請に必要な書類 基礎年金番号がわかるもの、出産予定日が記載された母子健康手帳（出産前に申請する場合）、出産証明書（被保険者と子が別世帯の場合）

問い合わせ先 姫路年金事務所 ☎079-224-6382/ほけん年金課（内線356）

## 交通事故などで **国民健康保険** 病院にかかるときは届け出を

交通事故や傷害事件などで第三者（加害者）から傷病を受けた場合でも、国保を使って医療を受けることができます。ただし、その場合には「第三者行為による傷病届」の提出が必要です。本来、治療費は加害者が支払うものですが、一時的に国保が立て替え、後から加害者に請求します。

### ■届け出に必要なもの

- ・第三者行為による傷病届
- ・事故発生状況報告書・同意書・誓約書
- ・交通事故証明書（コピー）
- ・保険証・本人確認書類（免許証等）

### ■国保が使えなくなる場合があります

届け出前に加害者から治療費を受け取るなど、示談を済ませてしまうと、国保が使えなくなる場合がありますので注意が必要です。示談をする場合は、事前に国保係に連絡し、示談成立の場合は、すみやかに示談書の写しを提出してください。また、治療が完了・中止したときは必ずご連絡ください。

問い合わせ先

ほけん年金課 国保係（内線355・379）

## 高齢者芸能慰安会を開催しました

9月30日、文化センターで「高齢者芸能慰安会」を開催しました。出演者は、曲芸のジャグラーみぞんさん、漫才の立山センター・オーバーさん、歌謡ショーの松本毬さんでした。

ジャグラーみぞんさんの曲芸では、ボールや駒、梯子などを使ったひやひや連続の芸に拍手喝采で、立山センター・オーバーさんの漫才では、手をたたきなが

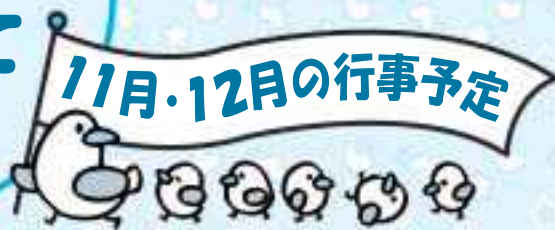


ら笑う方も見られ、会場は大いに盛り上がりました。

最後をしめくくったのは、松本毬さんの歌謡ショー。今回は一緒に歌うことはできませんでしたが、美しい歌声に魅せられ、声を手拍子に変え、ステージと客席



が一体となり盛り上がりました。高齢者芸能慰安会をとおして、みなさんに楽しいひとときを過ごしていただく事ができました。（福祉課）



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定が変更になる場合があります。福崎町ホームページでお知らせしますのでご確認ください。

## にこにこひろばで 作って遊ぼう！

申込みは不要です。材料はこちらで用意します。  
9:30～11:00の都合のよい時間におこしてください。  
先着20人の参加とさせていただきます。  
場所 にこにこひろば  
対象 就学前の子どもとその保護者

☆11月の製作『どんぐりマラカス』  
11月17日(木) 製作時間：約15分

※問い合わせはにこにこひろばへ

## 子育て講座

### 『家族みんなが笑顔になれる食事』 ～3食3色楽しく食べよう～

離乳食・幼児食の悩みはおまかせください！  
日時 12月7日(水) 10:00～11:00  
場所 文化センター(小ホール)  
講師 福崎町保健センター  
管理栄養士 本窪田直子  
定員 15組程度(託児スペースあり)  
申込先 おひさまらんど

### ちょきちょきぺったん！ ～とんがり帽子と クリスマスガーランドを作ろう！～

日時 12月12日(月)・13日(火)  
① 9:30～10:15 ② 10:30～11:15  
場所 にこにこひろば  
対象 就園前の子どもとその保護者  
定員 各回5組まで  
申込先 にこにこひろば

## 『あそびのひろば』

おんがくあそびの会【ドレミ】  
日時 11月10日(木) 10:00～11:00  
場所 八千種研修センター  
定員 12組程度  
音に合わせたリズムあそびや、季節の歌を歌っています。



絵本とおはなしの会【ぐりとぐら】  
日時 12月1日(木) 10:00～10:40  
場所 文化センター2階和室  
定員 3組程度  
絵本の読み聞かせ、わらべうた、パネルシアターなどを通して、ことばやおはなしの世界を広げましょう。  
※申込はいずれもともだちひろばまで



## 『すきっぴひろば』☆12月の予定

小さい赤ちゃんから入園前の幼児まで、親子で手あそびやわらべうた、リズムあそび等を楽しみます。

日	時	場所
2日(金)	10:00～	第1体育館(体育室)
9日(金)	10:00～	八千種研修センター
16日(金)	10:00～	文化センター(小ホール)

対象 就園前の子どもとその保護者・各回10組程度  
申込先 おひさまらんど

## 個別相談(1日3組まで)

11月15日(火)・12月20日(火) 10:00～14:00  
場所：文化センター2階和室 ※託児あり  
個別相談員：大内和恵  
※申し込みは下記の3施設で受け付けます。

★行事への参加は、福崎町に在住の子どもとその保護者に限ります。

★子育て情報は福崎町ホームページでもご覧になれます。アドレス<http://www.town.fukusaki.hyogo.jp>

### ともだちひろば

(西部子育て学習センター)  
火～金曜日 9:00～16:00

文化センター2階  
☎22-7830 FAX22-2561

### おひさまらんど

(福崎子育て支援センター)  
月～金曜日 9:00～17:00  
土曜日 9:00～12:00

福崎幼稚園内  
☎22-2308 FAX22-2313

### にこにこひろば

(東部子育て学習センター)  
月～木曜日 9:00～16:00

田原幼稚園内  
☎22-1058 FAX22-1058

子育て支援に関することは Eメール [ko-shien@town.fukusaki.lg.jp](mailto:ko-shien@town.fukusaki.lg.jp)